



(実施概要)

日 時：平成 30 年 11 月 23 日（金・祝） 13：30～15：30
場 所：ジュールフェリエ ラ・バンク

33 名のみなさんにご参加いただきました！

< プログラムの概要 >

第1回の市民ワークショップとして開催した「かしはら未来カフェ」では、ワールドカフェ（※）の手法を用いて、一緒に橿原市の未来について考える会話を楽しんでいただきました。

会話のきっかけとなる「3つの問い」に対して、それぞれ20分間の会話を重ねた後、最後に「ハーベスト（収穫）の問い」についての意見を集めて、みんなで共有しました。

会話のきっかけとなる「3つの問い」

- ① あなたにとって「橿原市」の「いいところ」といえば何ですか。
具体的な例をあげて話してください。
- ② あなたにとって「橿原市」の「いいところ」といえば何ですか。
そのうち、他の人と共感しあえること、子どもに伝えたいこと、
より磨いていきたいことは何ですか。
- ③ 「橿原市」の将来像を描き、共有していただく中で、そうした「橿原市」をつくっていくために、「私」や「私たち」が「明日からでも」できることは何ですか。

ハーベスト（収穫）の問い

- 「橿原市」の将来像を描き、共有していただく中で、そうした「橿原市」をつくっていくために、「私」や「私たち」が「明日からでも」できることは何ですか。

※ ワールドカフェとは……

1つのテーブルに4人で座って、フロア全体での共通の問いをきっかけに、20分間会話。その後、ひとりが残って3人がそれぞれ別のテーブルに移動し、また、次の問いをきっかけに20分間会話する、という、合計3回の会話を行って、最後にフロア全体で意見を交わしあうものです。「カフェのようなくつろいだ環境での、自由闊達な会話を通じてこそ、創造的な集合知が得られる」ということを科学してつくられた手法で、地域住民、事業者等、行政など様々な立場の人が、いっしょに考えて「おしゃべり」する濃密な時間を大切にしています。

< 結果のまとめ >

私が描く橿原市の「将来像」について

区分	件数 (%)
○ 住みやすさに関する意見	8 件 (25.0%)
○ 行政に関する意見	6 件 (18.8%)
○ 交流・つながりに関する意見	5 件 (15.6%)
○ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見	5 件 (15.6%)
○ 歴史・自然に関する意見	5 件 (15.6%)
○ 医療・福祉に関する意見	4 件 (12.5%)
○ 子育てしやすいまちに関する意見	3 件 (9.4%)
○ 市民と行政等の協働に関する意見	2 件 (6.3%)
○ 交通に関する意見	2 件 (6.3%)
○ 安全・安心に関する意見	2 件 (6.3%)
○ その他	6 件 (18.8%)
計	48 件 (32 名) -

※ 内容を延べ件数として集計しています。

(主な意見)

■ 住みやすさに関する意見

- 子どもたちやお年寄りが今以上に住みやすい市にしていきたい。
- どの年代の人にとっても住みやすい橿原市であってほしい。子どもにとっても、子育てする親にとっても、お年寄りにとっても、住みやすいまちに。
- 市民が住み続けたいと考える市。
- 子ども、それを見守る親、高齢者、健康でパワーのある人、自分の周りで世界ができている人、健康に不安のある方、いろいろな人がいることがより多くの人に理解され、広く大きな目で橿原市を考えられていること。その上で、さらに上に登って、全体を見られて考えられていること。
- すべての市民が「Win-Win」の関係でいられる市。
- 大人も子どもも楽しく暮らせる街。
- 大人から子どもまで楽しく生活できる橿原市になってほしい。
- 歴史と自然と便利さが調和し、子育て・教育に強く、長生きできる市。

■ 行政に関する意見

- 住民の声が届きやすい市であってほしい。
- 民主的に市民が意見を言えて、市民の声が議員を通じて市政に届く市。
- 市民の意見に耳を傾ける市政であってほしい。
- まちの情報が行き届くまち。
- 市税が無駄なく使われている、健全な市政が行われている。
- 市民税、固定資産税を全国平均に。

■ 交流・つながりに関する意見

- 高齢者の方が住みやすく、年代関係なく関わりを持てる橿原市となっている。
- 老人同士で楽しく話のできる場所がある。
- 世代を超えた交流が常にあるまちに。
- 全世代がいろんなことに参加し、楽しめて、交流ができる市に。
- 「遠くの親戚より近くの他人」いざという時に頼り頼られる安心できるまちに。

■ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見

- 若い世代が住みたくなるまちづくり。
- 若い世代のご家族に、転入してもらうようアピールをしている。
- 若者と子どもが生き生きと暮らせるまち。
- 子どもたちが将来住みたくなるようなまちにしていきたい。
- 他の地域で生活していても、社会に出ても、橿原市に戻ってくる。

■ 歴史・自然に関する意見

- 大和三山を活かし、その周辺でお年寄りも子どもものびのびと美味しい空気を吸って、楽しく過ごせる姿を夢見る。
- 歴史的価値と利便性、自然の共存。そのために、子どもたち、市民への地域学習の促進。積極的に案を出せるよう主権者教育。
- 橿原市は歴史のあるところなので、その魅力をたくさんの人に知ってもらえるようにしたい。
- 日本のはじまりの地、そして、これからの新しい日本のはじまりの地。
- 今井町や橿原神宮など、歴史があるところを大切に、橿原市外の人に知ってもらい、橿原の良いところ、住みやすいことを知ってもらう。

■ 医療・福祉に関する意見

- 老人や身障者に、奈良県、国並みのコストパフォーマンスを。
- 高齢者の健康寿命をサポートするまち。
- 医療が十分に受けられる。
- 医療費無料。

■ 子育てしやすいまちに関する意見

- 子どもの成長を支えるまち。
- 子育てしやすいまち。
- 仕事・育児が両立できるまち。

■ 市民と行政等の協働に関する意見

- 上も下もなく、住民皆の声に耳を傾けてくれる市や行政の方々との関係。
- 住民同士が様々な意見を出し合って、常によりよい橿原市を築いていける関係。

■ 交通に関する意見

- 交通の便がよい。
- 買い物に行ける周遊バスがあるとよい。

■ 安心・安全に関する意見

- 人々が暮らしやすい、安心・安全なまち。
- 安心、安全で生活しやすいまち。

■ その他

- 文化的で教育が充実している。
- 一人ひとりが活躍できる市。
- 歴史、交通、医療。たくさん良いものを持っているので、これらを魅力的かつ合理的に活用していく。
- 利便性がさらに高く、観光などで盛り上がる市にしていきたい。
- 自宅、仕事場だけでなく、地域で活躍できる場の創生！
- 働ける場所を増やす（企業を増やす、給料を上げる）。

将来像に向かって「私」や「私たち」ができることについて

区分	件数（％）
○ 市民参加等に関する意見	10 件 （38.5％）
○ 交流・つながりに関する意見	5 件 （19.2％）
○ 魅力発信・PR に関する意見	5 件 （19.2％）
○ 身近な活動に関する意見	4 件 （15.4％）
○ 子どもに関する意見	3 件 （11.5％）
計	27 件 (26 名) -

※ 内容を延べ件数として集計しています。

(主な意見)

■ 市民参加等に関する意見

- 今日のような話し合いの場があって意見交換をし、それを市に伝えていくこと。
- 市と市民の意見の共有・交換を積極的に行いたい。
- 常に市政に関心を持って行政を見るような眼を持ち、十分な知識を持って、選挙に行く。
- もっと住民が現状や市政に関心を持って、市政に参加する。
- 意見を行政にしっかり伝える。
- 行政や教育に自由に意見を言う。
- 市の行政に関心を持つこと。
- 市政に関心を持つ。
- 市について知らないことが多く、知る努力から始めていきたい。
- してもらうことを待つのではなく、微力であっても自分が貢献できるものを見つけ、言うだけでなく、行動に起こしていきたい。

■ 交流・つながりの促進に関する意見

- とにかく世代や性別の垣根を超えて「かたる」。
- 他の市や町から転入してきた人の話を聞く。
- 隣近所との交流に始まり、今日のようなワークショップ等に積極的に参加、いろいろな年齢・職業の方と意見交換をし、友人や家族に発信していく。
- 市内各地域でのイベントや祭りを通して、地域交流を楽しむ。
- こういった集いに参加したり勉強したりしながら、いろんな人から情報や参考になることを教えていただく。

■ 魅力発信・PRに関する意見

- 子どもたちに昔から住んでいる方と交流を持ち、情報発信できる方が SNS やインスタでもっと檀原をアピールする。
- 宣伝、発言、参加。
- 積極的に発信していく行動をとる。
- 檀原市の良いところを市民みんなで発信。
- SNS で発信する。

■ 身近な活動に関する意見

- 自分が生活している中で気づいたことなどをこういう機会を通じて伝えることを少しでもしていきたい。
- 自分自身が小さなことでも参加する、楽しむ。
- 元気で長生きできる年寄りになる。
- 生き生きとした市民から生き生きとした市となるよう、自分が積極的になる。

■ 子どもに関する意見

- 檀原市の歴史を子どもたちに伝える。
- 子どもの教育に対して、関心を持って、市や学校とつながり、働きかけていく。
- 私ができることは、まず自分がそれを知って、子どもに伝えられたらと思う。

(参考) ハーベスト (収穫) の付せんの内容

※市民税 固定資産税と
全国平均に
※老人、障害者にコストパフォーマンス (県国並に)
※交通の便を利用 (県外を...)

高齢者の方が住みやすい
年代 関係は関係ない
もって 橋原市とほいさ
うと"もたら"に音から住んで
いる方と交流をもたし、情報
提供で"きき"方がSNSやInstagram
もって 橋原をアピールね。

・子供連やお年寄りが今以上に
住みやすい市にしていきたい。

・自分が生活している中で気が付くこと
などをこういう機会を通じて伝えること
を少しでもしていきたい

・買い物に行ける用(遊)パスがある
など、老人同士で楽しく話の土
場所がほしいです

どの年代の人にとって 住みやすい橋原市
あってほしい。多岐にわたる 多岐にわたる
ある。お年寄りにとって 住みやすい。!!
先代には。今の時代 話のネタがある
意見交換したり 先代に伝えること
私達もこれ 声に響いてほしい。

「将来像」

子供、老人と暮らす親、高齢者、
健康で、1107あり、自分のまわりで
世界から来る人、健康に不安のある方
色々な人がいる 事が、より多くの人に
理解され、広く大目目、橋原市を
考えられている事。その上でさらに上を目指
して、全体をまとめて考える事

・若い世代が住みたい町
・橋原市の歴史を子供たちに伝える
・他の市町村から転入してきた人達の
話聞く。

2018.11.23

・市民が住み続けたいと考える市。
・安心、安全で生活しやすい町。
・文化的で教育が充実している。
・医療が十分に受けられる。
・市政が無駄なく行われている。
(「人」的な市政が行われている。
・市民が常に市政に関心を持って、
行政を見ようとする風をもち、
・税金を無駄にせず、選挙に行く。

・全ての市民が"winwin"の
関係で暮らす市

・とくに世代や性別問わずに
越えて「語りあふ」

橋原市、将来像
大に暮らす街。
自宅、仕事場、学校、地域で活躍する
学校、地域、
生活する市民、
生き生きと市、
積極的に生きる市、市

人々が暮らしやすい (文化、観光)
安心、安全なまち、(例、人)

もっと住民が現状や市政に
関心を持ち、市政に参加する

若い世代の「家族に
転入してもらうアピール」をし
ている。→意見を行政
にしっかり伝える

★世代をこえた交流が常にある町
★隣近所との交流にはじまり、
こういった(今日のよう)ワークショップ等に
積極的に参加。色んな年齢・職業の
方と意見交換をし、友人や家族に
発信していく

「将来像」

・大から小まで楽しく生活する
橋原市にしたい。
・市内各地域でのイベントや祭り
を通して、地域に誇りを感じて。

・全世代が参加し、楽しめる
市。交流ができる市に。
自分自身の
小さな事でも、参加する
楽しむ

①人口増

・子育てに医療費、送料
大和ミムを活かし
その周辺お年よりも
子供ものびのび美味
し空気をすて楽しみたいと夢見
がたい。

子供たちが将来住みたくあるエ
な街にしていきたい

榎原市について知らないことが
多く知る努力から
はじめていきたい。

②若者と子供が、いざいまとくらせ
街。
子供の未来を支える街。
高齢者の健康寿命をサポートする街。
行政や、教育に、自由に意見を言う。

・子育てしやすい街

・仕事・育児を両立できる街

・働ける場所を増やす
(企業を増やす、給料を上げる)

・上も下もなく、住民の声に耳を傾けてくれる
市や行政の方々との関係
・住民同士が意見を話し合っ
て、
常により良い榎原市を築いていく関係
・こういった集りに参加しに力を出しつないう。
色んな人から情報や知恵を教えるべく

・住人の市が属する市にいてほしい
・市の行政に関心をもちたい

1. 民主的に市民が意見を
言える市
2. 市民の声が議員を通じて
市政に届く市
3. 積極的に発言して
いく行動をとる

他の地域で生活し
ても、社会に出てても
榎原市にもどて来る。
元気で長生きできる
年寿になる。

町の情報が行き届く町

宣伝、発言、参加

★遠くの親戚より山の人、いざという
時に頼り頼まれる安心できるうちに。
★してあげて待つのではなく
一緒にあつて、自分ができるものを
は、あつてだけでなく
行動におついていきたい。

・市民の意見に耳を傾ける
市政であつてほしい
・市政に関心をもちたい

・歴史と自然と便利さが調和
し、子育て・教育に強く長生きできる
（人々が）まよわでいる市。市。
・子供の教育に女性に関心を
もち、市や学校をつながり
はたらきかけていく。

歴史的価値と
利便性、自然の共存

↓そのため

・子どもたち、市民への地域学習の促進
・積極的な企業を出せるような主権者教育
・榎原市のよい所を市民から発信

榎原市は歴史のある所
なので、その魅力をたくさん
の人に知ってもらえるようにしたい。
私ができることは、まず自分が
それを知って、子供に伝えられたらと
思います。

歴史、交通、医療

たくさん良い物をもっています。
これらを、科学的、合理的
活用していく事。

日本のいまの地
その新しい時代の地

★今井町や榎原神社など
歴史があるところを大切に
榎原市外の人にも知ってもらい、
榎原のいいところ住みやすい
ことを知ってもらおう。

★SNSで発信する。

利便性が高い、観光地、盛り上げ
・利便性が高い、観光地、盛り上げ
・観光地、盛り上げ
・観光地、盛り上げ

市と市民の意見の共有・交換を
積極的にしていきたい。

